

一般質問

へ米谷議員▽
 ①猛暑の中、数回熱中症アラートが発表されたが、(*ハイリスクグループ)にどのような対応をされたのか。
 ②児童生徒の熱中症対策として、夏休み・冬休みの延長の考えは。
 ③本町は、主な公共施設に、エアコンが整備されていない。中でも、基幹集落センターは、一般葬儀でも多く使用されており、又避難所としても指定されて幅

へ清原町長▽
 ①現在、町内の校長会と協議を行っている段階であり、本年度予算において小中学校に工アコングループにどのようないい。また、そのことも踏まえて、検討している。
 ②学校においては、暑さに伴う臨時休校などを含めたマニュアルも今後は必要であると考えるが、如何か。
 ③エアコン整備は、今後、必要であると考

へ奥田教育長▽
 ①熱中症警戒アラート・安全安心メールなど、若い方は対応が可能なが、高齢者にとつては情報の伝達が浸透していないように思われる。猛暑に対する細かな指針、対応マニュアルなどの作成をして配布する必要もあると考

へ米谷議員▽
 ③エアコン整備は、各施設や店舗等に協力を、町内の民間



問 各公共施設に冷房の設置を
答 基幹集落センターを最優先に整備したい

へ清原町長▽
 ①熱中症警戒アラートが発表された際に、たきのうえ安全安心メールを配信。国保診療所、こども園、子育て支援係、溪樹園、リハビリセンター、そして町支署でも、周知をしてホームページで呼びかけを実施している。又、広報たきのうえにおいて、保健福祉課や消防署でも、周知をしている。

へ米谷議員▽
 ①熱中症警戒アラート・安全安心メールなど、若い方は対応が可能なが、高齢者にとつては情報の伝達が浸透していないように思われる。猛暑に対する細かな指針、対応マニュアルなどの作成をして配布する必要もあると考

へ清原町長▽
 ②各学校には熱中症対策について、道教委員会から関係資料が送付されており、次年度に向け危機管理マニュアルの見直しを進めているところであり、万全を期すよう、取り組んでまいりたいと考えている。

へ清原町長▽
 ③エアコンについては、各施設にエアコンの整備を進める中で、企業の取り組みも参考にし、活用・取り組みを研究しながら、進めていく課題と認識している。

広い年齢層の方が集まる場所もある。早急に設置を進めていくべきと考えるが、整備計画はあるのか。

へ清原町長▽
 次年度の予算において財政状況を勘案しながら整備していくことを承知している。

へ清原町長▽
 ①高齢者への熱中症伝達方法等にはいろいろな計画は、有しておりますが、ませんが、必要性は重々承知している。

位を協議の上、冷房設備整備について早急に取り組まれることを期待するが如何か。

(*) 热中症ハイリスクグループ

熱中症対策に係る厚生労働省の取り組みの中で普及啓発・注意喚起の呼びかけ対象者として、特に留意が必要な「ハイリスクグループ」として、高齢者、小児、寝たきり、生活困窮者を対象に挙げている。

(*) クーリングシェルター

「クーリングシェルター」は冷房が効いた部屋を開放し、暑さをしのぎ熱中症などの対策に役立てる施設。

政府は公共施設だけでなくショッピングセンターなどの民間施設で冷房が効いた部屋を「クーリングシェルター」として事前に指定し、開放することを求めている。